

【様式 2】個別事業調書様式

令和 8 年度矢巾町農商工共創協議会事業調書

部会名（班名）	農業部会		
事業名	生育予測システム等導入事業 新規 ・継続（1 年目）		
事業目的 （なんのために）	- 令和 6 年度の取組において、試験圃場を設定し、土壌診断の結果に基づく施肥による収量・収益の変化を可視化したことにより効果が確認された。 - 圃場のデジタル管理に効果的な Z-GIS、リアルタイムで圃場の地力・生育ムラの確認に効果的な Xarvio（ザルビオ）の導入を支援することにより、適切な元肥設計・農薬散布を実現し支援する。 - 化学農薬及び化学肥料の削減と収量の維持をできる限り両立する手法の確立を目指すとともに、土壌診断の結果を効果的に発現するための（同一耕作者による）農地集約の機運を高める。		
期待する効果 （目指す姿）	土壌診断の結果に基づき、適切な元肥設計・農薬散布を実現することで化学肥料や農薬散布量の低減を図り、効率的な営農を目指す。		
実施内容 （いつ・どこで・なにを・どうする）	事業の手法（該当項目にチェック）		
	☒ 補助金・助成金 ☐ 研修・講座 ☐ 実証圃・展示圃設置 ☐ 集客イベント ☐ その他（ ）		
	事業の対象者（地域や作目が限られる場合は地域名や作目名も記載）		
	町内農業者		
	具体的な内容 (1) 時期：通年 (2) 場所：－ (3) 主な内容： 土壌診断等の結果に基づき、画一的なものではなく、それぞれの圃場に応じた施肥（及び追肥）を行うことで、資材費（肥料費等）に対する収量に係る費用対効果の向上を目指すもの。 また、Z-GIS により紙ベースの圃場管理からデジタル化、Xarvio（ザルビオ）からリアルタイムで圃場の地力・生育ムラの可視化を可能にすることで、効率的な営農を目指すため、これらツールの導入経費を助成する。 【料金参考】 ・Z-GIS →100 圃場ごと月額 220 円から（クラウドストレージを 100 圃場ごとに 1GB まで使用可能で上限 20GB）。登録 2,000 圃場以上は、月額定額 4,400 円。 ・Xarvio（ザルビオ）（1ha ごとに追加料金。100ha を上限とし超過した場合は） →水稻・大豆・小麦・大麦 1 作物あたり 13,200 円～15,400 円（年 2ha まで） →甜菜 6,000 円（年 2ha） →その他 14 作物 全作物込み 6,600 円～8,800 円（馬鈴薯、甜菜、ブロッコリー、とうもろこし、小豆、レンゲ、そば、菜種、キャベツ、たまねぎ、にんじん、いんげん豆、クリムゾンクローバー、ヘアリーベッチ）		
事業目標（数値等）	ツール導入件数 5 件以上		
目標算定手法・時期	助成事業に伴う調査実績による・2 月		
支出予算額、 うち暫定予算額	費目	予算額	積算根拠
	補助金	200,000 円	上限：1 事業者 5 万円（補助金ベース：補助率 1/2 以内）※R7 以前から導入の場合 2/3 以内
	合計額	200,000 円	
※令和 8 年度に限り過年度に導入済みの場合も対象とする。令和 9 年度以降事業が継続される場合は、補助率を下げる又は増分対象とするなど検討するものとし、事業対			

	象者は導入によるほ場のデジタル管理による効果や、施肥量減に伴う費用削減効果との費用対効果について聴き取りに応じるものとする。 ※Z-GIS、Xarvio 以外のシステムについては機能と活用目的により補助対象とするか判断する。
特定財源の有無 (該当項目にチェック)	☐ 有 ☒ 無
	☐ 助成金（ ☐ いわて農林水産振興協議会 ☐ 県農業公社（担い手育成特定資産事業） ☐ その他（ ） 収入予定額： 円
そ の 他	【継続事業の場合は継続理由を記載】 事業名称を変更し、新規事業として設定するもの